

経営情報学会 2017年秋季全国研究発表大会

ひと・情報・技術で創造する地域の未来

日程：2017年9月21日(木)・22日(金)

21日 10:00 – 17:30 (懇親会 18:30 – 20:30)

22日 9:30 – 16:00

場所：岩手県立大学アイーナキャンパス・いわて県民情報交流センター（アイーナ）
会場はアイーナ7階です

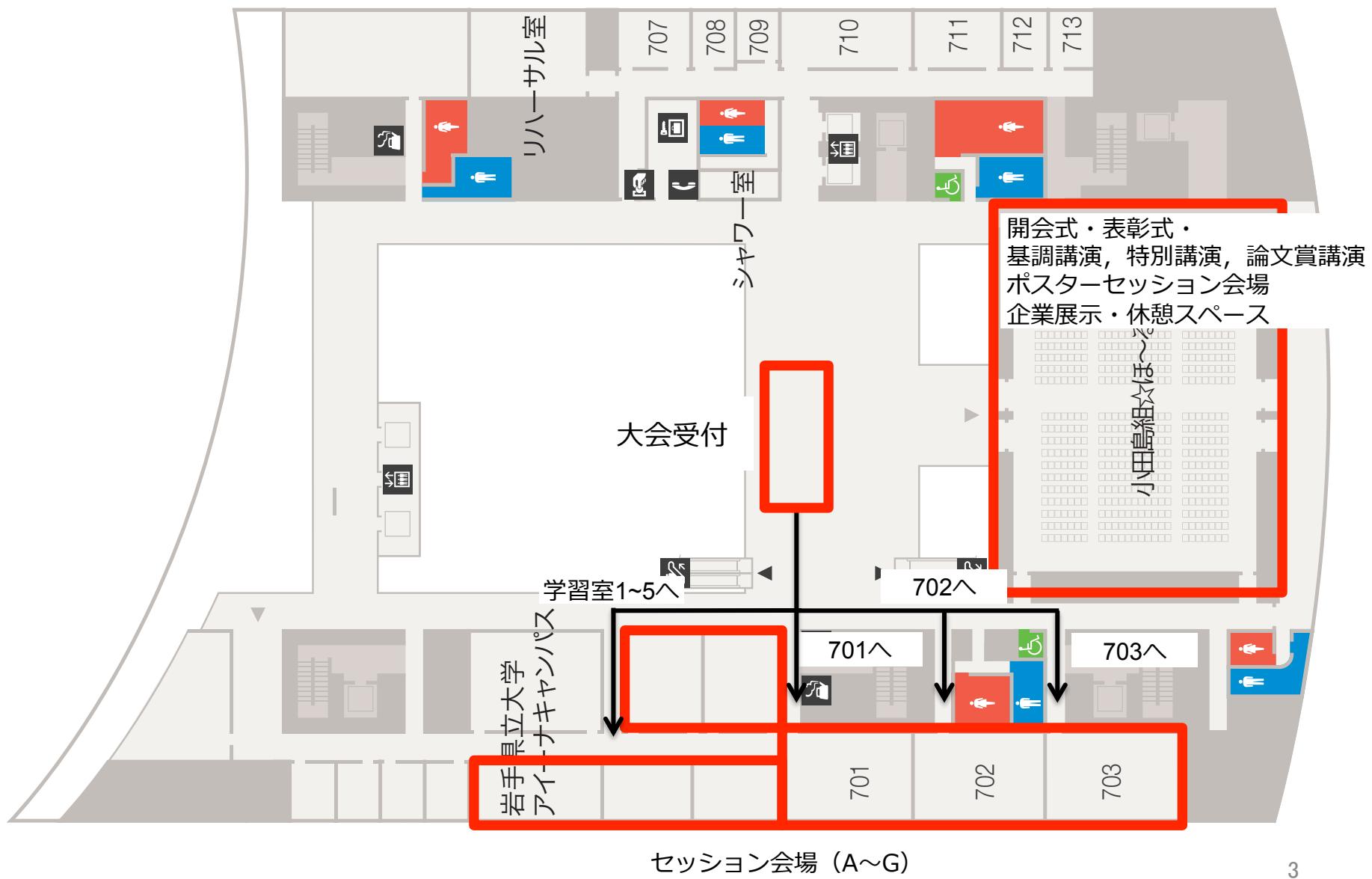
プログラム 目次：

- (1) 会場アクセス（大会会場、懇親会会場）：P.2
- (2) 大会会場マップ：P.3
- (3) 大会プログラム：P.4以降

(1) 会場アクセス（大会会場、懇親会会場）



(2) 大会会場マップ アイーナ7階



(3) 大会プログラム 【9月21日(木)午前】

会場	A会場 (学習室1)	B会場 (学習室2)	C会場 (学習室3)	D会場 (学習室4)	E会場 (会議室701)	F会場 (会議室702)	G会場 (会議室703)	P会場 (小田島組☆ほ~る)
セッション名	特別講演 (チートリアル)	イノベーション(1)	IoT・ビッグデータ	情報システム	人材・能力開発	企業事例セッション(1)		ポスター
座長		堀川三好 (岩手県立大学)	山根昇平 (富士通研究所)	向 正道 (新日鉄住金ソリューションズ株式会社)	布川博士 (岩手県立大学)	大堀耕太郎 (富士通研究所)		
10:00 - 10:30	[A1-1／PR0092] ビジネス価値創出のための成熟度フレームワーク 飯島淳一(東京工業大学) 近野章二(日立製作所)		[C1-1／PR0010] 転移学習を利用した ファッショングデータとアンケートデータからの幸福度の推定 森田裕之(大阪府立大学) 白井康之(大東文化大学) 後藤裕介(岩手県立大学)	[D1-1／PR0016] 情報システムの要求定義 の効率化のための業務シナリオの自動生成ツール の提案 位野木万里(工学院大学) 高橋宏季(工学院大学) 近藤公久(工学院大学)	[E1-1／PR0042] 企業理念の共有と選抜型 リーダー育成研修の関係 岩森真彦(株式会社 ヨンドシーホールディングス)	[F1-1／PR0055] 福祉分野における潜在ニーズをとらえた業務支援システムの開発 阿部考志(岩手インフォメーション・テクノロジー株式会社) 井上孝之(岩手県立大学) 木下昇三(滝沢市) 佐藤勝之(滝沢市)		
10:30 - 11:00		[B1-2／PR0021] 製造業における利用価値向上による差別化に関する考察 多那 航(福島大学大学院) 石岡 賢(福島大学)	[C1-2／PR0034] BLEビーコンを活用した巡回行動ログデータの取得と移動軌跡推定手法の提案 酒井瑞樹(大阪府立大学) 森田裕之(大阪府立大学)	[D1-2／PR0029] マイナンバーカード普及に影響する主観的な情報システムの質評価に関する分析 渡邊真治(大阪府立大学)	[E1-2／PR0074] 地域貢献を目的としたプログラミング教育 木下和也(中村学園大学)	[F1-2／PR0089] 無線通信技術を核としたビーコン発信機と屋内位置推定システムの開発 水野節郎(株式会社イー アールアイ) 三浦 淳(株式会社イー アールアイ) 荒井満浩(株式会社イー アールアイ)		ポスターセッションの 発表は5ページ参照
11:00 - 11:30		[B1-3／PR0068] サステナブル・エコシステムとビジネス・エコシステム：2つのエコシステムの関連性と非関連性 佐々木宏(立教大学)	[C1-3／PR0036] 複数の公共デジタルセットを結合する際の問題に関する考察 平野雅章(早稲田大学)	[D1-3／PR0053] メディア文化的視点から情報システムデザインについての考察 内木哲也(埼玉大学大学院)	[E1-3／PR0080] クリエイティブクラスへのマネジメントアントレーンバターン把握に関する提案 森本千佳子(東京工業大学) 増田礼子(フェリカネットワークス株式会社) 松尾谷 徹(デバッグ工学研究所)			
11:30 - 12:00			[C1-4／PR0045] 文章自動生成に向けた非構造データの活用の一考察 太田博三(株式会社 Speee)					
12:00 - 13:30	【A会場】 12:15 - 13:15 ランチョンセミナー 事例で見る分析ツールの活用方法 ～データおよびテキスト分析から 数理計画、シミュレーションまで～ 小木 しのぶ(NTTデータ数理システム)			[D会場] 12:00 - 13:00 支部長会	昼食			

(3) 大会プログラム【9月21日(木)ポスターセッション】

会場	P会場 (小田島組☆ほ~る)
セッション名	ポスターセッション
座長	横田公理(慶應義塾大学) 高橋真吾(早稲田大学) 木野泰伸(筑波大学) [P1-1／PR0082]
	[P1-16／PR0078] 角桂恭央(立命館大学) 歌代豊(明治大学) 布施匡章(近畿大学) 技術導入の影響効果とそのメカニズム 大園亮亮(日本大学) 佐藤愛斗(日本大学) 大江秋津(日本大学)
	[P1-17／PR0031] ビジネスプロセスにおける「待ち」の形式化と検証 白木優也(龍谷大学) 新川秀行(龍谷大学)
	[P1-18／PR0061] 組織におけるフォロワーによるリーダーシップ認知のモデル化 松下直弘(早稲田大学) 高橋真吾(早稲田大学)
	[P1-19／PR0079] 高齢者向けプログラミング教育の実践 小泉勝志郎(宮城大学大学院) 須栗裕樹(宮城大学) 深見嘉明(立教大学)
	[P1-20／PR0011] 日本企業における環境CSRと経営業績の関係分析 深沢由斗(東京工業大学) 後藤美香(東京工業大学)
	[P1-21／PR0047] テキストマイニングによるCSR活動の定量分析に基づくCSR活動と財務ノワーマンスの関係分析 梁本昇吾(青山学院大学) 上野修平(青山学院大学) 大内紀知(青山学院大学)
	[P1-22／PR0050] CSR活動と財務ノワーマンスの関係に関する定量分析 日比彰悟(青山学院大学) 斎藤未藍(青山学院大学) 大内紀知(青山学院大学)
	[P1-23／PR0070] 教育理念が学校の魅力に与える影響のメカニズム 花岡幸治(日本大学) 大江秋津(日本大学)
	[P1-24／PR0072] 清水創己(日本大学) 柴直樹(日本大学) 大江秋津(日本大学) 組織の自尊感情が組織ノワーマンスに与える影響 佐々木優太(岩手県立大学) 南野謙一(岩手県立大学) 後藤裕介(岩手県立大学) 渡邊鶴
	[P1-26／PR0035] 和岩手県立大学)
	[P1-27／PR0043] 聞き書きによる文化資源の収集・提示手法の提案 寺鷹一郎(岩手県立大学) 鵜竹俊久(岩手県立大学) 竹野健夫(岩手県立大学)
	[P1-28／PR0056] 学術論文自動要約におけるオントロジーを用いた精度向上策 相田達哉(千葉工業大学) 喜多村正二(千葉工業大学)
	[P1-29／PR0064] スキーマ人口減少によるスキーマ市場経営の課題と、その解決に向けてのICT支援の可能性 阿部友哉(岩手県立大学) 渡邊慶和(岩手県立大学) 南野謙一(岩手県立大学) 後藤裕介(岩手県立大学)
	[P1-30／PR0090] コーヒーショップにおけるICTを活用した店舗内情報共有支援の提案 高橋このか(岩手県立大学) 渡邊慶和(岩手県立大学) 南野謙一(岩手県立大学) 後藤裕介(岩手県立大学)
10:00 - 12:00	[P1-10／PR0048] 路線バス利用における需要刺激要因に基づく利用者予測モデルの検討 中張昇(工学院大学) 三木良雄(工学院大学)
	[P1-11／PR0052] 普及段階に応じたネットワーク効果 加太憂(青山学院大学) 大内紀知(青山学院大学)
	[P1-12／PR0059] 消費者の購買行動過程の分析を目的とした仮想アンケート型モデル検証方式の提案 室佐樹(東京都市大学大学院) 岡田公治(東京都市大学) 兼子穂(東京都市大学)
	[P1-13／PR0085] 食のプラットフォームを活用したマーケティングの構造化戦略 有吉純基(立命館大学) 三藤利雄(立命館大学) 田中克明(立命館大学)
	[P1-14／PR0012] 確率的フロンティアモデルを用いた地銀銀行の合併による効率性分析 相原瑞生(東京工業大学) 後藤美香(東京工業大学)
	[P1-15／PR0054] 韓国株式のニュースとティックデータに関する基礎分析 尹星在(慶應義塾大学) 菅愛子(慶應義塾大学) 高橋大志(慶應義塾大学)

(3) 大会プログラム 【9月21日(木)午後】

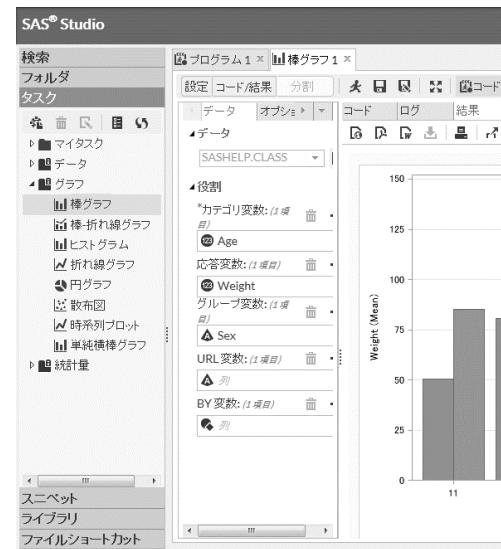
13:30 - 14:00	開会式・表彰式 ・学会賞表彰式 ・学生優秀発表賞表彰							
14:00 - 15:00	基調講演『国際リニアコライダー（ILC）と地域からの開拓』 鈴木厚人 氏(岩手県立大学 学長)							
15:00 - 15:30	休憩							
	A会場 (学習室1)	B会場 (学習室2)	C会場 (学習室3)	D会場 (学習室4)	E会場 (会議室701)	F会場 (会議室702)	G会場 (会議室703)	P会場 (小田島組☆ほ～る)
セッション名	講演会	イノベーション(2)	政府・自治体(1)	マーケティング	経営戦略	企業事例セッション(2)		ポスター
座長		角埜恭央 (立命館大学)	柴 直樹 (日本大学)	森田裕之 (大阪府立大学)	歌代 豊 (明治大学)	大堀耕太郎 (富士通研究所)		
15:30 - 16:00	[A2-1／PR0086] プロジェクト型ビジネス プロセスのIoTマネージ メント 出口 弘(東京工業大学)	[B2-1／PR0022] 自動車産業における3Dブ リント活用の現状と展望 市田陽児(日本大学)	[C2-2／PR0008] IT調達を成功に導くため の人材環境構築 土肥亮一(会計検査院)	[D2-1／PR0018] ペット・トリミングサロ ン2店における店舗レイ アウトの効率性への影響 分析 山口 淳(東京工科大学)	[E2-1／PR0003] 日本型IT活用の問題克服 によるIoT他の積極活用 高橋 浩(北陸先端科学技 術大学院大学)	[F2-1／PR0007] 電子契約サービスという新た な市場をどのように創出しご シネスを拡大してきたか? 向 正道(新日鉄住金ソリュー ションズ) 後藤哲矢(新日鉄住金ソ リューションズ)		
16:00 - 16:30	[B2-2／PR0025] 近年の市場環境変化へ対応 するためのイノベーション 手法に関する考察 小林拓未(福島大学大学院) 石岡 賢(福島大学)	[C2-1／PR0069] 電子自治体の進展の現状 と課題 有馬昌宏(兵庫県立大学) 堀 信也(兵庫県立大学)	[D2-2／PR0019] クチコミの拡散状況を定 量化する方式に関する考 察 福田浩至(株式会社ルー ブス・コミュニケーショ ンズ) 大曾根匡(専修大学)	[E2-2／PR0020] オーケストラ組織の成長 と組織変容 石塚一彌(東京富士大学)	[F2-2／PR0014] 汎用シミュレーションシステ ムの開発とビジネスへの応用 事例 嶋田佳明(株式会社NTTデ ータ数理システム)			
16:30 - 17:00	[B2-3／PR0028] イノベーションの普及と中 小企業の事業経営 松平好人(都留文科大学)	[C2-4／PR0071] 我が国の電子自治体の進 展過程 有馬昌宏(兵庫県立大学) 堀 信也(兵庫県立大学)	[D2-3／PR0039] お弁当の外観印象での嗜 好モデル構築 砂川昌允(福島大学大学 院) 董 彦文(福島大学)	[E2-3／PR0038] 経営戦略理論のゲーミン グモデルの特徴について 佐藤 寛(横浜国立大学) 田名部元成(横浜国立大 学)	[F2-3／PR0060] 人工知能を用いた移住促進へ の取り組み 中尾悠里(富士通研究所) 大堀耕太郎(富士通研究所) 大輪拓也(富士通研究所) 吉田宏章(富士通研究所) 吉良知文(九州大学) 神山直之(九州大学)			
17:00 - 17:30	[B2-4／PR0073] 産学連携型アクティブ・ ラーニングにおけるユー ザー・イノベーションの視 覚化 茨木 智(名古屋市立大学) 河合勝彦(名古屋市立大学) 下野由貴(名古屋市立大学) 青井一郎(豊田中央研究所) 後藤良次(豊田中央研究所) 杉浦豪軌(豊田中央研究所)	[C2-3／PR0075] 高度情報通信ネットワー ク社会の形成に関する予 算の推移 本田正美(東京工業大学)	[D2-4／PR0065] 市販薬の銘柄とパッケ ージの記憶 宇野 齊(法政大学)	[E2-4／PR0046] IT投資の効果を高める要 因としてのインセンシブ ルズの役割 布施匡章(近畿大学) 椎葉 淳(大阪大学大学 院)				
17:30 - 18:30	休憩・移動 18:00 に大会受付前から懇親会会場へ誘導いたします (直接会場におこしいただいても構いません)							
会場	懇親会 ・大会実行委員会挨拶 ・会長挨拶 ・経営情報学会 2017年秋季 全国研究発表大会 企業事例セッション 優秀報告賞 表彰 ・前回開催校各委員長への感謝状贈呈 ・次回大会の紹介							
18:30 - 20:30								

(3) 大会プログラム【9月22日(金)】

会場	A会場 (学習室1)	B会場 (学習室2)	C会場 (学習室3)	D会場 (学習室4)	E会場 (会議室701)	F会場 (会議室702)	G会場 (会議室703)	P会場 (小田島組☆ほ～る)
セッション名	中小企業のIT経営研究部会	教育学習	政府・自治体(2)	ビジネスモデル	シミュレーション	情報化社会	SCM	
座長	高島利尚 (クラウドサービス推進機構)	高木正則 (岩手県立大学)	倉橋節也 (筑波大学)	大江秋津 (日本大学)	高橋大志 (慶應義塾大学)	内木哲也 (埼玉大学)	佐藤亮 (横浜国立大学)	
9:30 - 10:00	[A3-1/PR0024] 東北の中小企業のIT経営 田口由美子(湘北短期大学) 藤原正樹(宮城大学) 松島桂樹(クラウドサービス推進機構)	[B3-1/PR0004] 専門職教育に求められる ITリテラシー 横井隆志(LEC東京リー ガルマインド大学院大 学)	[C3-1/PR0001] 東北B県の農産物生産経 営 稻垣伸子(NPO法人農都 会議)	[D3-1/PR0009] 水産物電子商取引による 漁業収益の改善 宮下和雄(産業技術総合研 究所)		[F3-1/PR0002] 国家による監視と日本社会 村田潔(明治大学) 折戸洋子(愛媛大学) 福田康典(明治大学)	[G3-1/PR0005] 国産豚肉の流通とトレーサ ビリティ・システムに関する 研究 寺前俊孝(名城大学) 仲川直毅(中京学院大学) 堀川新吾(名城大学)	
10:00 - 10:30	岡田浩一(明治大学) 大串葉子(新潟大学) 高島利尚(クラウドサービス推進機構)	[B3-2/PR0044] 数理モデル教育における ゲーミフィケーション Webサイトの開発 大村鍾太(桃山学院大学)	[C3-2/PR0026] 地域情報ポータルから見 た地方創生の方向性に關 する一考察 遊橋裕泰(静岡大学大学 院)	[D3-2/PR0027] インターネットモール事 業のビジネスモデル比較 幡鎌博(文教大学)	[E3-2/PR0058] オフショアソフトウェア 開発プロジェクトにおける 安心で便利なID社会基盤 構築のためのガイドライン の提案 煤系統一郎(北陸先端科学 技術大学院大学)	[F3-2/PR0013] ビッグデータ時代における 安心で便利なID社会基盤 構築のためのガイドライン の提案 八木晃二(専修大学) 大曾根匡(専修大学)	[G3-2/PR0087] ベトナムの工場内食堂の衛 生管理と食中毒予防 小川美香子(東京海洋大学) 濱田(佐藤)奈保子(東京 海洋大学) 湯川剛一郎(東京海洋大学)	
10:30 - 11:00	[B3-3/PR0057] グローバル展開を行う CVSのビジネス教育に關 する研究 大崎恒次(専修大学) 竹田賢(青山学院大学) 中邱良樹(青山学院大学)	[C3-3/PR0063] 実施運営側からみたスタ ンプラーー実態 飯塚重善(神奈川大学)	[D3-3/PR0030] なぜクラウドファンディ ングに参画したのか? 中田行彦(立命館アジア太平 洋大学)	[E3-3/PR0066] マルチエージェントシ ミュレーションを用いた ホテリングモデル拡張の 試行 白石秀壽(鳥取大学) 三浦政司(鳥取大学大学院)	[F3-3/PR0037] オムニチャネルからデジタ ルリテールへ 宗平順己(Kyotoビジネス デザインラボ合同会社)	[G3-3/PR0088] 在庫変動要因の解析と組み 合わせ最適化アルゴリズム の構築に関する研究 桑海侠(早稲田大学) 高橋真吾(早稲田大学)		
11:00 - 11:30		[C3-4/PR0084] 韓国における中小企業の サイバーセキュリティマ ネージメントと官民連携 事例研究 趙章恩(東京大学)	[D3-4/PR0062] ソーシャル・イノベー ション創出プロセスにお けるソーシャル・キャビ タルの影響 小川哲司(静岡大学) 遊橋裕泰(静岡大学大学院) 西垣正勝(静岡大学)	[E3-4/PR0081] マルチエージェントシ ミュレーションによる“モ ルトケの法則”的有効性検 証 磯部大(帝京平成大学)	[F3-4/PR0067] ウェルビーイング工学序説 平野雅章(早稲田大学) 齋藤敦子(コクヨ株式会社)			
11:30 - 12:00			[C3-5/PR0076] イノベーション実現のた めの技術フレーム共有 深見嘉明(立教大学大学 院)	[D3-5/PR0091] 介護事業者における介護 業務の効率化に関するモ デル開発研究 李娟(東北師範大学人文学 院、大阪産業大学)		[F3-5/PR0015] コンテキストと時間変化を 考慮したサービスシステム フレームワークの導出 澤谷由里子(東京工科大学)		
12:00 - 13:30	【A会場】 12:15 - 13:15 理事会				昼食			
会場	P会場(小田島組☆ほ～る)							
13:30 - 14:30	特別講演『国産漆の現状と今後の展望』 松沢卓生 氏(株式会社浄法寺漆産業 代表取締役社長)							
14:30 - 14:45	休憩							
14:45 - 15:45	学会賞講演『組織内自尊感情と知識提供動機が知識提供行動に与える影響』(経営情報学会誌, Vol.24, No.1, pp.1-17, June 2015) 向日恒喜(中京大学)							
	閉会							



SAS University Editionは、高等教育機関や社会人の学習者向けに提供される無償ソフトウェアです。しかも簡略版ではありません。世界中で7万サイトを超える民間企業（Fortune Global 500®ランディングの上位100社中91社が含まれています）、公共機関、大学で使用されているのと同じ、世界最高水準を誇るアナリティクス・ソフトウェアの最新リリースそのものです。つまり、最先端の統計／定量化手法をいつでもどこでも、ご自分のPC、Mac、Linuxワークステーションで直接ご利用いただけます。



直感的なインターフェイス：PC、Mac、Linuxワークステーションでソフトウェアを自在に操作できます。

強力なプログラミング言語：習得も利用も簡単です。（Base SAS）

包括的で信頼性の高いツール群：最先端の分析手法を幅広く取り揃えています。（SAS/STAT）

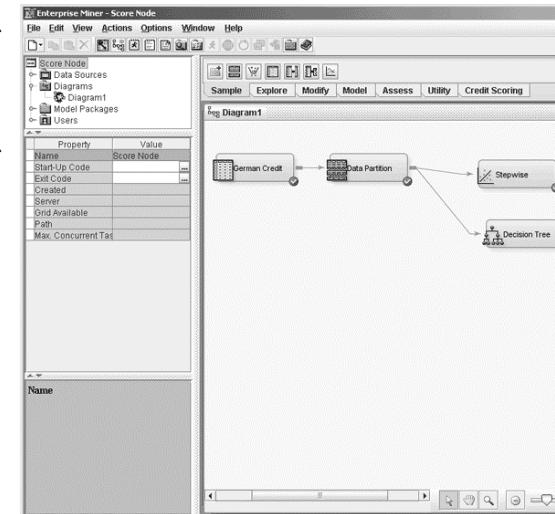
堅牢性と柔軟性を兼ね備えた行列プログラミング言語：より詳細で専門的な分析とデータ探索を行うことができます。（SAS/IML）

PCのさまざまなファイル形式を導入後すぐに利用：データアクセスを簡素化する仕組みが用意されています。（SAS/ACCESS）



統計分析、データマイニング、予測のための強力なSASソフトウェアに無償でアクセスできます。ポイント&クリック操作で高度な機能を利用でき、プログラミングの必要はありません。もちろん、必要に応じてプログラミングすることも可能です。どちらの方法でも、分析スキルを磨き、将来への確かな土台を築くことができます。

Web経由でソフトウェアにアクセスするため、分析処理はすべてクラウド側で実行。必要なのはブロードバンド接続だけです。



SAS OnDemand for Academicsには以下の製品が含まれます：

SAS Studio – Webブラウザベースのインターフェイスで、データアクセスやSASプログラムの作成を簡単に実行できます。

SAS Enterprise Guide – ポイント&クリック、メニュー、ウィザードによる操作を中心としたインターフェイスにより、データ分析を実行し、結果を発行できます。

SAS Enterprise Miner – 精度の高い予測モデルや記述モデルを作成できます。

SAS Forecast Server – 大量の予測を高速かつ自動的に作成できます。

教育機関向けの全ての製品について
は、こちらをご覧ください
sas.com/jp/go/analyticsu



SAS Institute Japan 株式会社

本社 〒106-6111 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー11F
大阪支店 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館12F

www.sas.com jpnssasinfo@sas.com

Tel: 03 6434 3000 Fax: 03 3434 3001
Tel: 06 6345 5700 Fax: 06 6345 5655